

たまき塾通信 2015. 9月号

ようやく暑かった夏が終わり 朝夕涼しさを感じるさわやかなこの頃です。

私は秋が一番好きです。空が澄んでいて空気も違う気がします。

食欲の秋、読書の秋、勉強の秋とも言います。美味しいものを感謝して

頂きにくさんの本を読んで もりもり勉強しましょうね。いざ!

さて、連日大雨による被害が報道されているので、あまりの被害

川の決壊の寸前までに驚かされます。被害にあわれた皆様には

心からお見舞い申し上げます。1日も早い復旧をお祈りします。

日頃、何もなくつつがなく当たり前前に思っていることが、これだけ

ありかたいいのか、家もあり水も電気も使えることが当たり前ありかたいいか

考えさせられます。そして自衛隊の方々の救助、ヘリコプターを停止させ

ロープで降り救助し、引き上げる。とても難しい作業で失敗は決して

許されません。人の命に関わります。見事に救助された映像を

見て思わす。「わあ。」と歓声もらし、拍手してしまいました。

日頃これだけ訓練されているのか...。本番で成功させるためには

並々ならぬ日々の努力、訓練とスポーツの世界でもそうですか。

改めて思いました。素晴らしいと思います。私の教え子の中には、

国を守るのと国防衛大学に進んで子かいます。人の命を助けるのと
消防隊員になって子かいます。素晴らしいと思います。自分の命を大切に
と祈るにいられます。きっと元気で活躍してくれていると思います。

さて先日プロゴルファー横峯さくらさんの伯父様の園長をなさっている

ヨミネ式の幼児教育をテレビで見ました。5歳の園児達の包丁を使い

火をおこしカレー作り、大人も大変な登山を行います。危なくても大人は

手を出さず見守るだけです。登山では「競走だ!!」と声をかけると園児達は

一斉に走り出します。遅れてはって泣いている子かいると、園長は、首に

泣いている子は自分に言いわけしているだけ。放っておけ」と無視です。

すると...泣いている子も必死で走り出したのです。園長の厳しさは

「誰も助けてくれない。自分の力でやりきるのだ。」という、これからの人生で大切な
教訓を幼稚園児に教えるためです。山に登った首の笑顔が素晴らしい。

その園児達は将来の夢を語るのです。自衛隊や医者、人を助けるのと。

自分の力で成し遂げたい自信のある子は前に進みます。人の役に立ちたいです。

たまき塾生の首さんも日々のトレーニングと、自分で成し遂げようという体験を

通してとんとん前進していきましょう。もちろん私達講師も一緒に、ヨーイトン!

五森みき拜